

[横浜にぎわい座]
 平成27年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の使命】

「大衆芸能」は先人からの伝統を受け継ぎつつも、未来に向かい今もお発展し続けている文化ジャンルです。また、その親しみ易さから老若男女を問わず、幅広い訴求力を持っています。

横浜にぎわい座は、様々な創意工夫により確立してきた独自の運営手法を「継承」しつつも、時代の変化やニーズを反映しながら更なる「発展」を目指します。

【業務取り組みの基本的な考え方】

大衆芸能の専門施設として質の高い鑑賞事業を提供することを中心に、大衆芸能作品の創造発信、若手実演家の育成、市民活動支援などに取り組むことにより、横浜市の文化政策、ならびに地域の活性化に寄与しつつ、大衆芸能の普及振興を推し進めます。

(2) 27年度の業務の方針及び達成目標

第二期指定管理期間最終年にあたる平成 27 年度は、第二期の新規提案を含めた提案事項の総仕上げに取り組むとともに、次期指定管理提案の礎となる安定した運営を行います。

① 事業について

大衆芸能界の潮流を踏まえながらその一翼を担い、多彩な主催公演を安定的に開催します。中でも、新たな演目や注目すべき実力派芸人の発信、若手芸人の育成支援、大衆芸能を活用した教育・福祉事業の実施など、公設の演芸場が担うべき役割を果たし、次期指定管理の提案へと繋げます。厳しい消費動向にありつつも、大衆芸能の魅力を市民に広く伝えることを使命とし、さまざまな手法を用いて顧客層を拡大し、収入増にも繋げます。

② 運営について

また来たくなるような楽しい雰囲気演出とともにホスピタリティある適切なサービス提供を心掛け、顧客満足度向上にも結び付くよう運営を行います。施設貸出しについては、利用者の立場にたったサポートの実施により既存利用者を安定的に確保するとともに、新規利用者獲得のための取り組みを通じて施設利用率向上を図り、利用料収入増にも繋げます。

③ 管理について

震災なども想定し、危機管理意識をさらに高めながら施設運営にあたります。日常点検や法令に沿った定期保守により施設・設備・備品の安全を確保し、管理者責任による人身事故をゼロとします。業務効率化や経費節減にも努めながら、次期指定管理の提案に繋がる効率的で安定した収支構造をつくりまします。

④ その他について

DANCE DANCE DANCE @ YOKOHAMA をはじめとする横浜市の文化施策と積極的に連携します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 鑑賞機会提供の安定的開催と充実について（鑑賞機会提供事業）

[目指す成果]	
・「にぎわい座ならでは」の多彩な公演の経常的な開催により、多くの方が気軽に大衆芸能を楽しんでいただける場とします。	
・入場料収入が事業経費を上回る、安定的で継続性の高い収支構造とします。	
[取組内容]	[達成指標]
横浜にぎわい座 経常事業	<input type="checkbox"/> 年間 230 公演以上の主催公演
芸能ホール公演:原則として毎月1日～15日	<input type="checkbox"/> 入場者月平均 3,500 名
小ホール公演:毎月月後半に2～3回程度	有名会・名作 900 名+企画公演 2,600 名
●『横浜にぎわい座 有名会』(毎月7回開催)	<input type="checkbox"/> 団体への販促
落語と多彩な色物が順番に演じられることで、“寄席”の芸と雰囲気を初めての方でも気軽に楽しめる公演。	月平均 8 団体の誘致
●『にぎわい座 名作落語の夕べ』	提携団体の機関誌等への情報掲載:年 3 件
(毎月1回開催)	

<p>4席の古典落語を、真打の落語家が1席ずつネタ出しで口演する、じっくりと落語の名作を楽しめる公演。</p> <p>●『横浜にぎわい座 企画公演 (演芸バラエティ)』 落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催。</p>	
---	--

イ にぎわい座からの創造発信について（創造発信事業）

<p>[目指す成果] 大衆芸能の伝統を踏まえつつ、にぎわい座の独自性を加味した企画を実施することで、過去から未来へ続く大衆芸能の潮流の一端を担います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>● 桂歌丸 三遊亭圓朝作「塩原多助一代記」 (年1回開催) 三遊亭圓朝の古典落語の人情哢に、桂歌丸が新たな息吹を吹き込み、現代の観客に向けて発信する公演。</p> <p>● 「志の輔 no にぎわい」(年2回公演開催) 独特の世界観が魅力の立川志の輔が、新たな視点で解釈した古典落語や、映像等も活用した新作落語等を織り交ぜて演じる独演会シリーズ。</p> <p>● 独演会シリーズ にぎわい座独自の視点と切り口で実力派落語家の魅力を発信する独演会シリーズ。現代の演芸界の潮流の一端を担います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 桂歌丸 三遊亭圓朝作「塩原多助一代記」 入場者数：300名以上</p> <p>□ 「志の輔 no にぎわい」 入場者数：各回300名以上</p> <p>□ 「独演会」シリーズ（毎月1回以上開催）</p>

ウ にぎわい座を拠点とした若手実演者の育成について（育成事業）

<p>[目指す成果] 若手実演者に研鑽の場を提供し、大衆芸能の未来を担う「将来の名人」の誕生に寄与することで、大衆芸能界全体の発展に貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『登竜門シリーズ in のげシャール』 小ホールで開催する若手実演者による公演。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『登竜門シリーズ in のげシャール』 年間20回以上の開催</p>

<p>●『企画公演(演芸バラエティ)』における小ホールでの若手育成公演出演者の登用。</p> <p>○『坂あがりスカラシップ』 急な坂スタジオ・STスポット横浜とのネットワークにより、新進芸術家の活動を支援する事業。</p>	<p>□『横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)』 年5回以上の登用 上記公演の入場者数:各回120名以上</p> <p>□『坂あがりスカラシップ』 支援対象者:1名</p>
--	---

エ 多様な世代に向けた教育普及型活動の拡充について (体験・学習事業)

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした大衆芸能の教育・体験プログラムを通じて、創造力の育成に貢献します。また、大衆芸能の魅力に触れることで、それを身近なものと感じる層を拡大します。 外部の組織や施設等との連携した講座等の企画により、幅広い層に大衆芸能や寄席の魅力を普及します。 	
<p>[取組内容]</p> <p>○『横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム』</p> <p>○『寄席体験プログラム』 西区・中区の小学生を対象に、芸能ホールで【寄席文化】を体験してもらう公演。</p> <p>○『大衆芸能関連講座』 全年齢に向けて、経常企画と連動したレクチャー企画や体験講座を実施。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム』 コーディネート事業の実施(1校以上)</p> <p>□『寄席体験プログラム』 参加者:1,500名以上</p> <p>□『大衆芸能関連体験講座』 子どもや、みなとみらい地区の就業者など、幅広い層を対象とした講座の実施(年間3企画以上)</p>

オ 連携による大衆芸能振興の展開について (連携事業)

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元の団体等と協働することで、大衆芸能を通じた地域の賑わいづくりに貢献します。 財団が運営する施設間の連携による、ジャンルを超えたプロモーションや顧客開拓を通じて、芸術文化のすそ野の拡大に寄与します。また、連携により、多彩なアートを活用した横浜市の魅力の向上に貢献します。 	
<p>[取組内容]</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』への参加(共催・協力) 地域の団体・組織が開催する芸術文化を活用して、地域の活性化を図る企画。</p> <p>●財団が運営する施設間の連携によるプロモーション</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 ・チラシ配布、ポスター掲出、ウェブサイトの活用等による広報協力で活動をサポートします。 ・『野毛まちなかキャンパス』 講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>■ヨコハマ・アートナビの誌面やウェブサイト、YAFチャンネルなどを活用し、財団による所管施設やジャンルを越えたプロモーションの一角を</p>

	担います。
--	-------

カ 大衆芸能に関わる市民活動への支援について（市民協働による事業や運営の展開）

<p>[目指す成果]</p> <p>大衆芸能の魅力を多方面で活用し、地域の活動・イベントとの連携等、幅広く対応できる「コーディネート・相談」機能を稼働させ、市民の多様な活動をサポートします。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『大衆芸能「コーディネート・相談」』機能にぎわい座が蓄積する大衆芸能の情報・ノウハウを、市民活動に幅広く活用してもらうため、情報発信・提供機能を強化します。</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』（共催・協力）</p> <p>●野毛地区街づくり会の中に設置された「にぎわい座利用促進委員会」と協働し、地域振興に取り組む市民活動を支援します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』他の施設や組織へ情報やノウハウの提供、企画制作への協力(年間10件以上)</p> <p>■『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』事業の共同制作や広報協力、展示・レクチャー企画等への会場提供等により、地域市民との協働で地域の賑わいづくりに寄与します。</p> <p>□野毛地区街づくり会との共催事業(5公演以上)</p>

キ 大衆芸能情報センターとしての情報拠点化について

<p>[目指す成果]</p> <p>大衆芸能に関連する公演情報を継続的、多角的に収集・蓄積・発信することで、大衆芸能の魅力が幅広い層に伝わり、大衆芸能の普及・認知度を向上させます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』</p> <p>●『電子大福帳の活用』 主催公演の情報(公演日、演者、ネタ等)を「電子大福帳」へ入力・蓄積していきます。</p> <p>●『展示事業』 2階情報コーナーでの大衆芸能資料を中心とした「常設展」「企画展」の開催。 (一部協力)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』 大衆芸能関連の配布物について、公演の開催地域や形態を問わず幅広く受け入れて配架します。</p> <p>□『電子大福帳の活用』 全ての主催公演情報の入力(年間230件以上)</p> <p>□『展示事業』 にぎわい座を素材とした作品を継続的に制作する画家・中島修の作品展の他、年間4回「企画展」を開催します。</p>

ク 地域活性化への貢献について

<p>[目指す成果]</p> <p>「野毛地区街づくり会」をはじめとする地域の各団体と協力・協働し、相互の広報協力・情報発信等を行うことで、街のにぎわい創出に貢献します。また、隣接する「みなとみらい地区」への情報発信や協力関係を構築することで、野毛方面への人の流れづくりに寄与します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>○『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』（協力）</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』（共催・協力）</p> <p>●『「みなとみらい地区」からの誘客活動』</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』</p> <p>「野毛通手形」への参加の他、地域の飲食店等と連携した集客・広報活動を実施します。</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p> <p>事業の共同制作や広報協力、展示・レクチャー企画等への会場提供等により、地域市民との協働で地域の賑わいづくりに寄与します。</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』</p> <p>講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>□『「みなとみらい地区」へのプロモーション活動』</p> <p>MMccなど、みなとみらい地区の企業や組織と連携した企画の実施(3回以上)</p>

ケ 市の文化政策との連携について

<p>[目指す成果]</p> <p>多様な施設を運営する財団の施設の1つとして、「横濱JAZZプロムナード」や「フェスティバル事業」等への参加や、他の施設や組織との協働等で構築したネットワークを活用することで、横浜市の文化芸術・創造都市施策の実現に貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>○『横濱ジャズプロムナード』</p> <p>○『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』</p> <p>横浜で開催される舞台芸術の国際的プラットフォームへの参加</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『横濱ジャズプロムナード』</p> <p>のべ2日間参加(職員派遣)。横浜都心部の活性化や市民協働の推進に寄与します。</p> <p>■『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』</p> <p>国際的に注目される場で、にぎわい座の空間が新しく効果的な形で活用されることで、これまでとは異なる層への施設PRと利用拡大へ繋がります。</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p>

<p>○『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』</p> <p>○『フェスティバル事業』</p>	<p>事業の共同制作や広報協力、展示・レクチャー企画等への会場提供等により、地域市民との協働で地域の賑わいづくりに寄与します。</p> <p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』</p> <p>コーディネート事業の実施(1校以上)</p> <p>■『フェスティバル事業』</p> <p>DANCE DANCE DANCE @ YOKOHAMA に積極的に参加します。</p>
--	--

(2) 運営について

ア 顧客満足度の高い運営の実現について

<p>[取組内容]</p> <p>① 専門対応能力の向上</p> <p>② 大衆芸能独特の魅力あるホスピタリティ向上</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① ■施設利用者の企画段階での課題や広報、販促等について、きめ細かくアドバイスします</p> <p>■にぎわい座内外での落語会開催要請に対する相談受付で情報提供とアドバイスを行います</p> <p>② □年1回以上接遇研修実施</p> <p>■演芸場らしい雰囲気大切にしながら、来館者や出演者に笑顔で対応します</p> <p>□季節に応じた館内装飾の実施(毎月)</p>
--	--

イ 施設の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>① 開館について</p> <p>② 利用率について</p> <p>③ 利用促進について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① □開館予定日数・時間</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">342日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開館時間</td> <td style="text-align: center;">10時～22時</td> </tr> </table> <p>② □目標利用率</p> <p>芸能ホール：90% 小ホール：70% *利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：90% 制作室：60% *利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p>③ □利用希望者施設見学受け入れ 年間12件以上</p> <p>■土日祝日の施設空き情報をその都度WEB発信</p> <p>■利用可能性のある団体や個人に対する個別提案の実施</p>	開館日数	342日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時
開館日数	342日 (月2回 施設点検で休館)				
開館時間	10時～22時				

ウ ニーズに基づくサービス向上について

<p>[取組内容]</p> <p>① 苦情処理への対応とその反映</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① □来場者アンケートや窓口でお客様の声を伺い、改善や対</p>
--------------------------------------	---

<p>② ニーズの把握と対応</p>	<p>応が必要な内容について、回答を掲示（年4回以上）</p> <p>② ■利用者の相談に応じて、チケット作成・受託販売、広報協力、宅配便預かりなどきめ細かな公演サポートを実施します</p> <p>■公演準備のための延長利用には柔軟に対応します</p> <p>■「利用の手引き」改訂版を発行します</p>
--------------------	--

エ 広報について

<p>[取組内容]</p> <p>① 対象にあわせた広報物の作成と発信</p> <p>② ウェブサイトの活用</p>	<p>① 横浜にぎわい座を知らない方やまだ来たことの無い方、大衆芸能をあまり知らない方に向けては、大衆芸能そのものへの興味を喚起するような広報物の作成、住居エリアや生活スタイルなどの属性を意識した情報の発信、付加価値をあわせた来館提案などを行います。また大衆芸能に興味を持つ層に対しては、主催興行の魅力を維持しながらその内容をより具体的に伝える広報発信を行うとともに、リピーターの定着をあわせて図ります。</p> <p><input type="checkbox"/>公演と連動させた初心者向け講座またはバックステージツアーの開催（共催を含む） 年間2回以上</p> <p>② 横浜にぎわい座の魅力を、動画やツイッターも活用しながら多面的に発信します。また、荒天時の利用対応や、施設の空き情報などは、即時性を持ってお客様に必要な情報をお知らせします。</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページ閲覧数 年間185万件</p> <p><input type="checkbox"/>ツイッター発信 月45件</p> <p>■土日祝日の施設空き情報をその都度WEB発信（再掲）</p>
--	--

オ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>① 業務に応じた適切な人材配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① <input type="checkbox"/>人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="711 1744 1428 2031"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>管理運営チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>事業運営チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>1人</td> <td>管理運営系</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	管理運営チームリーダー	1人	係長級	事業運営チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	1人	管理運営系
項目	人数	備考																	
館長	1人	非常勤																	
副館長	1人	課長補佐級																	
管理運営チームリーダー	1人	係長級																	
事業運営チームリーダー	1人	係長級																	
担当リーダー	1人	管理運営系																	

	職員	5人	管理系2、事業系3
	企画コーディネーター	1人	業務委託（非常勤）
	アルバイトスタッフ	2人	
	にぎわいスタッフ	25人 以内	総予定人数

② 主催事業や貸館状況に応じた勤務体制

② 勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて、人数配置

- ・事務室
 - A 勤務（9:30～18:15） 最小2名
 - B 勤務（13:30～22:15） 最小2名
- ・受付窓口
 - A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況対応
 - B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況対応
 - C 勤務（17:45～22:00） 人数は状況対応

(3) 管理について

ア 安全・安心・快適な施設の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]
① 施設・設備・備品の安全確保	① <input type="checkbox"/> 一日1回、施設・設備・備品の目視点検実施 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者責任による人身事故ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 所管課との施設設備保守管理状況の情報共有
② 高齢者や障がい者に配慮した安心な施設	② <input type="checkbox"/> サービス介助士資格取得者が2名以上在籍 <input type="checkbox"/> 全スタッフ参加の防災訓練を、年2回異なる想定で実施 <input type="checkbox"/> AED操作を含む救急救命研修修了者8名以上
③ 清潔感のある環境の維持	③ <input checked="" type="checkbox"/> 来場者アンケートにおける施設の満足度 4以上

イ 施設予防保全への取組みについて

[取組内容]	[達成指標]
① 館内の日常設備点検実施と委託先との情報・課題共有	② <input type="checkbox"/> 建物総合管理業務委託先との定例業務報告会を月1回実施
② 管理組合との調整・連携	② <input checked="" type="checkbox"/> ビル管理組合理事会へ参加し情報共有

ウ その他管理・保守点検に関する実施業務について

[取組内容]	[達成指標]
① 建物総合管理、舞台機構・音響設備・舞台照明各保守点検業務	① <input checked="" type="checkbox"/> 専門業者に委託し、関係法令ならびに管理業務基準に沿った管理・保守点検を実施

(4) 収支予算について

ア 収支について

[取組内容]	[達成指標]
① 収支状況の共有と執行管理	① ■事業収支は個別公演ごとの券売目標数を職員間で共有するとともに、管理職が月ごとの事業収支の結果を予算と比較し、以降の事業立案や広報活動に反映させます。管理経費は比較の変動幅がある光熱水費やにぎわいスタッフ人件費等を主な項目として状況を毎月把握し、前年度とも推移を比較しながら管理します。
② 収入の増加	② ■事業収入については、説得力のある広報素材を作成するとともに、ウェブサイトを含めた多様な手法を活用した広報活動により収入増を目指します。前年度後半に取り組んだ発売時期の前倒しも平成 27 年度は通年で実施するため、より多くの増収効果が見込まれます。施設利用料収入については、前年度より大幅に数字が伸びた平成 26 年度の取組みを維持発展させ、提案書の目標数字達成を目指します。
③ 経費の削減	③ ■事業経費は収入に見合った委託費交渉をさらに推し進めます。管理経費は水道光熱水費や消耗品費などの徹底した削減に引き続き取り組みます。業務の効率化により、職員やにぎわいスタッフの人件費抑制に努めます。

27 年度収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収 入		
指定管理料収入	209,704,000	
事業収入	126,320,000	
利用料金収入	21,000,000	
その他収入	450,000	企業協賛金/負担金収入/雑収入
合計	357,474,000	

支 出		
人件費	86,267,000	職員/非常勤職員/臨時雇
管理費	110,123,000	修繕費/光熱水費/負担金(管理組合)/什器備品費/委託費
事業費	126,010,000	
事務費	35,074,000	
合計	357,474,000	

収支計	0	
-----	---	--